

【記載例】

開始事件 事件番号 令和元年（家）第8\*\*\*\*号 【本人氏名： 後見太郎】

財産目録（令和3年1月31日現在）

令和 3年 2月 5日 作成者氏名 後見次郎 印

本人の財産の内容は以下のとおりです。

1 預貯金・現金

金融機関の名称	支店名	口座種別	口座番号	残高（円）	管理者
〇〇銀行	××支店	普通	2345678	3,034,900	後見人
●●銀行	■支店	定期	8765432	300,000	後見人
		支援信託			
●●信託銀行		支援預金	1122333	10,000,000	後見人
現金				52,147	後見人
合計				13,387,047	
前回との差額				1,379,022	(増・減)

(2から7までの各項目についての記載方法)  
・初回報告の場合→すべて右の□をチェックし、別紙も作成してください。  
・定期報告の場合→財産の内容に変化がない場合→左の□にチェックしてください。該当財産がない場合には、( )内の□にもチェックしてください。  
財産の内容に変化がある場合→右の□にチェックした上、前回までに報告したのものも含め、該当する項目の現在の財産内容すべてを別紙にお書きください。

2 有価証券（株式、投資信託、国債、外貨預金など）

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) □ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

3 不動産（土地）

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) ■ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

4 不動産（建物）

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) □ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

5 保険契約（本人が契約者又は受取人になっているもの）

- 前回報告から変わりありません(□該当財産なし) ■ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

6 その他の資産（貸金債権、出資金など）

- 前回報告から変わりありません(■該当財産なし) □ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

7 負債（立替金など）

- 前回報告から変わりありません(□該当なし) ■ 前回報告から変わりました（別紙のとおり）

【記載例】

(別紙)

2 有価証券(株式, 投資信託, 国債, 外貨預金など)

種類	銘柄等	数量(口数, 株数, 額面等)	評価額(円)
別紙を作成する場合でも, 変化のない項目は記載不要です。			
合計			

3 不動産(土地)

所在	地番	地目	地積(m <sup>2</sup> )	備考
●●区●●町●丁目	○○○番2	宅地	123.24	

4 不動産(建物)

所在	家屋番号	種類	床面積(m <sup>2</sup> )	備考
別紙を作成する場合でも, 変化のない項目は記載不要です。				

5 保険契約(本人が契約者又は受取人になっているもの)

保険会社の名称	保険の種類	証書番号	保険金額(受取額)(円)	受取人
■■生命	がん保険	*****	1,000,000	本人
□□生命	生命保険	*****	4,500,000	本人

変化がなかった財産も含めてあらためて当該項目の現在の財産の内容すべてを記載してください。

例: ■■生命(報告期間内に新規契約)→記載する。  
□□生命(前回報告と同じ) →記載する。

6

種類	債務者等	数量(債権額, 額面等)

7 負債(立替金など)

債権者名(支払先)	負債の内容	残額(円)	返済月額・清算予定
なし			
合計			